

IT 分野 缶材に続く需要に急成長

パソコン、タブレット PC、スマートフォン向け販売が拡大

平成 24 年 5 月 15 日

住友軽金属工業株式会社

住友軽金属工業株式会社（本社：東京都港区 社長：山内 重徳）は、今般、情報機器の筐体向けに開発したアルミ合金板が、大手EMSメーカーに採用されたことにより、急速に販売量を拡大しており、フィン材、自動車材などの主要な需要を上回る勢いで成長していることをお知らせいたします。

当社は、アルミ合金製造に於けるプロセス技術を確立し、ナノレベルで合金組織の制御を行ない、成形性にすぐれ強度を高めた高強度・高成形性アルミ合金板を IT 機器分野向けに、長年安定供給してまいりました。

平成 19 年度頃からは、これらの合金開発の実績をベースとして、陽極酸化処理など、当社グループの得意分野である表面処理技術を活かして、意匠性、光沢性に優れた情報機器向けアルミ合金の開発に取り組み、商品ラインナップを充実させて市場展開を行っております。

その結果として、今般、EMSメーカー経由で大手パソコンメーカーの次期モデルへの採用も決定し、販売量が急速に拡大しております。

住友軽金属グループは、今後も更なる技術革新に向けて邁進してまいります。

以上

問い合わせ先：住友軽金属工業株式会社

総務部広報チーム

TEL 03-3436-9867